

多文化社会専門職機構ジャーナル (The Journal of the TaSSK)

『多文化社会と実践研究』執筆要領

一般社団法人 多文化社会専門職機構

1. ページ設定・文字

- (1) A4判の用紙にワープロソフトを使用して、横書き 40 字×36 行で作成する。
- (2) フォントは、日本語および全角の数字・ローマ字は MS 明朝など、半角の数字・ローマ字は Century などの標準的なフォントを使用する。

2. 全体の構成 原稿の構成

- 1). 和文題目
- 2). 執筆者名
- 3). 本文
- 4). 注
- 5). 参考文献

3. 見出し、小見出し、項 本文中の見出し

[見出し] 1. 2. 3. ~ (数字・ピリオドは全角)

[小見出し] 1-1. 1-2. 1-3. ~ (数字・ハイフンは半角、ピリオドは全角)

[項] (1) (2) (3) ~ (数字は半角、括弧は全角)

4. 説明注

説明注は後注とする。本文中該当箇所の文字の右肩に注番号を 1 2 3…のように付し、注は本文末尾に 1 行空けて、[注] の見出しの下に一括して記載する。

5. 文献注

- (1) 本文や注で引用した文献を示す注 (文献注) は、本文中の該当箇所に [著者の姓+西暦 発行年: (半角空欄) 該当ページ] というかたちで記す (例: [杉澤 2009: 35])。外国語文献の場合は、著者名と発行年のあいだに半角空欄を挿入する (例: [Aldrich 2012: 105])。
- (2) 同じ著者の同じ出版年の文献を引用する場合は、出版年の後に a, b… と小文字のアルファベットを順につけて区別する。(例: [杉澤 2012a] [杉澤 2012b])
- (3) ふたりの共著の場合は、外国語文献であれば [Nakagawa and Shaw 2004]、邦文文献であれば [青山・伊東 2005] などとする。3 人以上の共著の場合は、[Holliday et al.]

2004]、 [松尾ほか 2013] などとする。

- (4) 編著の場合は、[山西編 2008]、[金子・森岡編 2001]、[K. Hewitt ed. 1983]、 [Perry and E. L. Quarantelli eds. 2005] などとする。
- (5) 邦訳書の場合は、[原著者氏名＋原著刊行年＝訳書刊行年： 訳書の引用ページ]、すなわち [Spivak 1993=1994: 44] などとする。
- (6) ひとつの文献注でふたつ以上の著書、著者を示す場合は [杉澤 2009, 2012] (同一著者の場合)、[植田 2012; Ueda and Torigoe 2012] (異なる著者の場合) などとする。

6. 参考文献リスト

文献注で引用した文献は注の後に 1 行空けて、[参考文献] という見出しの下に一括してアルファベット順に並べたリストを作成する。

各文献の表記は原則として

<著書>著者名＋発行年＋題名・副題＋出版社.

<論文>著者名＋発行年＋論文名・副題＋掲載雑誌・号数＋掲載ページ.

とする。なお、邦文文献の場合はカンマ、ピリオド等は全角で、題名は『』（論文は「」）で囲み、主題と副題のあいだには——（全角 2 倍ダッシュ）をつける。外国語文献の場合はすべて半角文字とし、ファミリーネームを先頭にし、主題と副題はイタリック体にして、あいだをコロンでつなげる。また出版社の前に出版都市名を明記する。

その他、表記法の詳細は以下の事例を参照。

(単著)

今野裕昭, 2001, 『インナーシティのコミュニティ形成』東信堂.

Mileti, D. S., 1999, *Disaster by Design: A Reassessment of Natural Hazards in the United States*, Washington, D.C.: Joseph Henry Press.

(雑誌論文)

辻内鏡人, 1994, 「多文化主義の思想史的文脈—現代アメリカの政治文化」『思想』843: 43-66.

Mar, Phillip, 1998, “Just the Place is Different: Comparisons of Place and

Kreps, G. A., 1984, “Sociological Inquiry and Disaster Research,” *Annual Review of Sociology*, 10: 309-30.

(編著・編著論文)

蓮見音彦・似田貝香門・矢澤澄子編, 1990, 『都市政策と地域形成—神戸市を対象に』東京大学出版会.

高坂健次・石田淳, 2005, 「災害とヴァルネラビリティ」関西学院大学 COE 災害復興制度研究会編『災害復興—阪神・淡路大震災から 10 年』関西学院大学出版会, 167-81.

Quarantelli, E. L., 1978 “Some Basic Themes in Sociological Studies of Disasters,” E. L. Quarantelli eds., *DISASTERS theory and research*, London: SAGE

Publications Ltd. 1-14.

Bennett, David ed., 1998, *Multicultural States: Rethinking Difference and Identity*.
London: Routledge.

(訳書)

Spivak, G. C. 1988, "Can the Subaltern speak?" Nelson, C. and Lawrence Grossberg
eds., *Marxism and the Interpretation of Culture*, Urbana: University of
Illinois Press: 271-313 (=1998, 上村忠男訳『サバルタンは語ることができるか』
みすず書房)

7. 図表および写真等

図表および写真等は本文中の該当箇所に挿入・添付し、それぞれ 図 - 1、表 - 1、写真
- 1 などのように通し番号をつけ、タイトルをつける。タイトルは、表の場合は表の上に、
図・写真の場合は下につける。